

医療法人 健生会

大久保病院

長崎市戸石町1470-1

【病院の特徴】

海を望む自然豊かな環境の中で、地域医療の充実と、患者様との会話を大切にし、患者様おひとりおひとりの触れ合いを喜びとして、温かく思いやりのある医療・看護を提供します。あたたかい手と柔らかな心でケアし、患者さまに信頼していただけることに感謝しながらやりがいを持って働けることが魅力です。



【設置主体】医療法人

【病床数】一般病床12床、療養病床142床
地域包括ケア20床

【病床稼働率】98%(2016年)

【入院基本料】一般10対1、療養病床入院基本料1
地域包括ケア入院医療管理料1

【看護職員数】81人、看護補助者48人

【看護職の平均年齢】45.4歳

【離職率】6.1%(2016年12月)



平成26年度の取り組み

主な取り組み

プラン1

◎WLB推進体制の立ち上げ

- ・看護部から発信し、病院長のキックオフ宣言
- ・各部署からメンバー参加しチーム結成

プラン2

◎時間外勤務の削減

◎看護ケアの充実

- ・業務量調査
- ・時間外勤務の量と内容、看護ケアの時間と内容を知る

プラン3

◎WLB推進活動の周知を図る

- ・インデックス調査の分析
- ・全職員対象にWLB支援制度の説明

1年目(平成26年度)

👑 1年目の成果

- ◆WLB活動推進委員会1回/月開催
- 各部署の問題や共通問題を出し合い取り組み
- ◆業務量調査により、看護職の業務実態の明確化
- 看護ケア時間と業務内容の把握
- 時間外勤務の実態

委員会活動では、部署の話題だけではなく部署間の問題を出し合うことができ、良好な業務遂行へと結びついた。業務量調査で、看護師個々人の動きが明確化され、看護業務内容の見直しができる。実施前には「看護ケアができていない」と感じていたことが、実際は、時間は確保できていたが、個別的看護ケアの実施ややりがい感に繋がっていないことがわかり、取組課題が明確となった。職員の大半が就業規則の理解が不足していることがわかり、知りたいことに焦点をあてながら、制度の説明会を行った。



平成27年度の取り組み

プラン1

◎WLB推進活動の充実
(看護部から病院全体での活動に拡大)

- ・他職種との連携強化
- ・名称「笑び一歩」やロゴを職員募集により決定
- ・各部署の部署目標を立案し取組み

プラン2

◎やりがいのある看護ケアの実践

- ・業務量調査
- ・看護実践と成果

プラン3

◎WLB推進活動の周知と活用

- ・時間単位での有給休暇取得
- ・有給休暇前借制度
- ・WLBだよりの発行

2年目(平成27年度)

👑 2年目の成果

- ◆時間単位での有給休暇利用
- ◆有給休暇前借制度の活用
- ◆夜勤回数、祝日勤務回数に応じた手当の付加
- ◆業務量調査からゆとりと実践したい皮膚ケア・排泄ケアを中心に学習し実践につなげたことでの、看護ケアの充実とやりがい感

時間単位での有給休暇を設定したことで勤務者の確保につながった上、より有給休暇を取得しやすくなった。有給休暇前借制度により、新入職者がやむを得ない休みに対しても、欠勤せずに対応できるようになった。休日出勤や夜勤ができる職員への負担が大きいことから、賞与で手当てを支給し効果を得た。

看護ケアの時間はとれていた。何をしたいのかを考え、清潔保持ケア・排泄ケアを中心に実践し、皮膚の保湿保護では、有効な成果を上げられたことでやりがい感が得られた。



平成28年度の取り組み

プラン1

◎WLB推進活動の充実

- ・委員会での積極的意見交換
- ・おたがいさま風土の確立

プラン2

◎やりがいのある看護ケアの実践

- ・患者QOL向上のために、各病棟の特色を生かし実践
- ・インデックス調査

プラン3

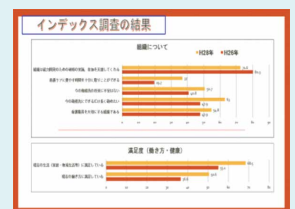
◎WLB推進活動の周知と活用

- ・時間単位有給休暇取得推進
- ・地域貢献活動

3年目(平成28年度)

👑 3年目の成果

- ◆患者QOL向上のために、やりがいのある看護ケアの実践で看護に対する満足感が得られた。
- ◆「仕事と生活の満足度」の数値目標を達成した。
42.2%→68.5%
- ◆「今の職場に長く勤めたい」の数値目標を達成した。
47.9%→63%
- ◆WLB取組み広報により職員の確保につながった。



課 題

- ・サービス残業と感じる職員の増加
- 時間外勤務時間は減少したが、サービス残業と感じている職員が増えた。時間外勤務の申請の方法など検討が必要。

WLB推進事業に取り組んで

WLB活動を通し、やりがいのある看護ケアを意識的に実践することで患者への成果があり、看護ケアの充実とやりがい感に繋がった。自らよりよい職場環境を作り出せるという風土になってきた。WLBについて他職種の理解と協力が得られるようになり、職種間で相談しやすくなった。今後も職員全体で職場環境を整え患者さまや職員にとってよい医療機関をめざし努力していきたい。

看護部長 田代 由里香